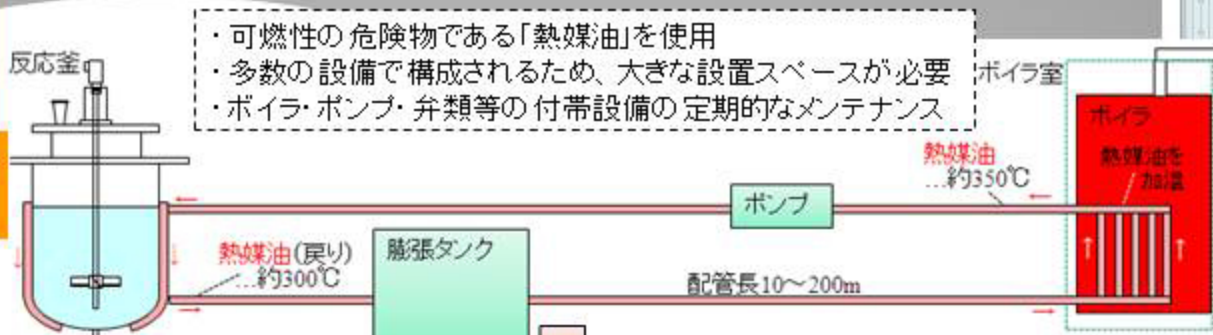


防爆型IH反応釜

1

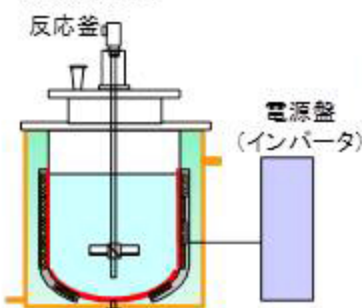
従来方式との比較

①従来の熱媒油方式



- ・可燃性の危険物である「熱媒油」を使用
- ・多数の設備で構成されるため、大きな設置スペースが必要
- ・ボイラ・ポンプ・弁類等の付帯設備の定期的なメンテナンス

②開発品



省スペース・省メンテナンスを実現!

- ・可燃性の危険物である熱媒油を使用しないため安全
- ・反応釜とインバータのみで構成されるため、省スペース
- ・省メンテナンス

2

広い温度範囲

- 450°Cまでの幅広い温度範囲をカバーします。
- 取扱いの面倒な熱媒油や溶融塩は、もう必要ありません。



3

温度カーブ

- 釜外壁温度と製品温度の温度差 (ΔT) が小さく、製品温度のオーバーシュートがなく、製品にやさしい加熱ができます。

